

施設概要

(令和5年4月1日現在)

施設名 桜台公民館 (桜台センター内)		開館時間 窓口業務 8:30~21:00 公民館業務 9:00~21:00 児童館業務 9:00~17:00 図書室業務 (閲覧)9:00~(貸出)9:30~17:00 市出張所業務 (水金)8:30~12:00 (日)8:30~13:00,14:00~17:15		
所在地	〒270-1412 白井市桜台2-14	併設施設	桜台児童館/図書室/市出張所/桜台小学校区 地区社協	
TEL	047-491-7111	FAX	047-404-7555	
メール	sakuradai@shiroi-com10.com			
休館日	月曜・国民の祝日・年末年始	駐車場	22台 (内障がい者用1台)	
職員構成 R5年4月現在	センター長：1/副センター長：1/公民館：3/児童館：3/図書室：3/夜間：2/清掃：1			
貸出施設	1時間あたりの施設使用料 (社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00~21:00	付帯設備
	研修室	40名	350円	机10、椅子30設置 (予備机、予備椅子あり)
	作法室	38名	350円	机1、椅子5設置、炉 (座卓、座布団、囲碁将棋盤、茶道具などあり)
	視聴覚室	24名	780円	コンベック付き調理台4、電子レンジ2、ガス炊飯器2、冷蔵庫、調理器具各種、食器、カトラリーほか
	調理実習室	40名	720円	ピアノ1、テレビ1、DVDデッキ1、スクリーン、机10、椅子ほか
	レクリエーションホール	100名	970円	バドミントンコート1面、支柱、ネット、卓球台4、音響設備ほか
貸し出し可能備品	施設利用の際の館内貸し出しのみ可：CDデッキ、ホワイトボード用マーカー、延長コードほか			

令和4年度 公民館等団体別利用状況 (桜台公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4	41	565	112	980	0	0	0	0	16	164	9	21	178	1,730
5	41	473	101	960	3	31	0	0	21	235	9	31	175	1,730
6	39	571	108	921	3	25	1	17	19	227	6	28	176	1,789
7	45	650	112	982	2	21	0	0	31	293	9	63	199	2,009
8	34	493	90	786	0	0	0	0	29	712	2	5	155	1,996
9	41	616	110	999	2	32	0	0	27	401	6	23	186	2,071
10	41	623	100	955	5	59	1	19	26	790	9	24	182	2,470
11	42	583	90	1,024	6	67	0	0	27	381	6	39	171	2,094
12	31	390	93	894	4	39	0	0	25	367	9	46	162	1,736
1	37	602	93	1,000	2	34	0	0	14	164	9	73	155	1,873
2	35	570	98	965	2	32	0	0	21	218	8	52	164	1,837
3	45	1,508	100	1,120	3	37	0	0	27	886	14	72	189	3,623
合計	472	7,644	1,207	11,586	32	377	2	36	283	4,838	96	477	2,092	24,958

令和4年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室	542	5,024	33.8
作法室	487	4,111	28.5
調理実習室	14	165	2.2
視聴覚室	228	2,514	15.5
レクホール	821	13,144	54.5
合計	2,092	24,958	

令和4年度 桜台公民館 事業報告

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画後期基本計画から抜粋）

戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを感じるまちづくり
- ・働く場を生み出すまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・「かかわれる農」のまちづくり
- ・みどりを育み活かすまちづくり

戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・都市拠点がにぎわうまちづくり
- ・地域拠点でつながる健康なまちづくり
- ・拠点を結ぶまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

1. 運営方針

（1）全体の運営方針

- ・コロナ禍がもたらした閉塞感や孤独感を払拭し、一步踏み出せる場所とする

（2）分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①多様な環境での子育てを支援し、子育てに対する意識を高める ②同世代の子ども同士、その保護者同士の出会いと交流の場と機会を提供する ③地域健全育成を図り、子育てによる閉塞感を緩和する
青少年教育 (2)	①異年齢、異学区の子ども同士や地域との交流を図り、社会性を養う ②想像力、創意工夫、生きる力をつけるための体験、学習、活動の機会を提供する ③自ら考え行動する青少年を地域で育成する
成人教育 (3)	①変化する社会に対応できる知識を学び、犯罪などから身を守るすべを提供する ②体を動かす楽しさを知り、運動機能の低下を防ぐ ③同じ趣味を持つ仲間づくりを支援する
団体育成 (4)	①地域の人々がつながり、地域で何かをしたいという思いを支援する

(3) 令和4年度 重点に実施した項目（講座・事業など）

- ・時代に沿ったデジタル機器を活用した生活に取り残されないよう、年間を通して参加しやすい講座の開催に努めた。

2. 公民館 講座等実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加人数
家庭教育 (1)	子育てサロン【定期講座】 【児童館と合同】	①②③	3回 延べ15人
	赤ちゃん広場「いちご組」前半 【定期講座】【児童館と合同】	①②③	5回 11組22人
	赤ちゃん広場「いちご組」後半 【定期講座】【児童館と合同】	①②③	5回 7組14人
青少年教育 (2)	学ぶKidsシリーズ 【児童館と合同】	①②	3回 延べ35人
	さくらだいクラブ～白井探検隊 ～【児童館と合同】	①②③	3回 9人
	さくセンこども企画部 【児童館と合同】	①②	3回 8人
	さくセンフェスタこどもボラン ティアに挑戦【児童館と合同】	①②	2回 5人
	学ぶKids「さくセンウォーク」 【青少年相談員・児童館と 合同】	①②③	1回 8人
成人教育 (3)	リフレッシュ倶楽部「自宅でで きる健康リンパ講座」	②③	1回 10人
	優しく学べるシニア向けスマホ 講座（基礎編）	①③	2回 延べ18人
	優しく学べるシニア向けスマホ 講座（活用編）	①③	2回 延べ21人
	はじめてみようZOOM体験講座	①③	4回 延べ31人
	大人の手芸倶楽部～はじめて作 る小さなワイヤーバスケット～	③	1回 8人
	白井歴史散策倶楽部 ～白井の魅力発見～春	②③	2回 9人
	白井歴史散策倶楽部 ～白井の魅力発見～秋	②③	2回 10人
	歴史講座「江戸時代の寺社参詣 の旅と房総」	③	1回 9人
	税金講座～どう働く？どう納め る？～託児あり	①③	1回 6人

団体育成 (4)	なろう！桜台地域サポーター	①	6回	7人
-------------	---------------	---	----	----

(2) 講座以外に行った事業

- ・桜台センター利用者連絡会
- ・さくセンフェスタ実行委員会
- ・さくセンフェスタ
- ・地域イズム
- ・ハートの会 YSB桜台（ヤングスペシャルベース）協力

(3) 情報の提供

【紙媒体】

- ・広報しろい掲載
- ・さくセン通信（桜台小・中学校・桜台保育園に児童数配布、各センター・行政施設などに設置、桜台中学校区自治会に回覧もしくは掲示）
- ・児童館だより配布
- ・周知ポスター掲示

【web】

- ・ホームページ
- ・ブログ
- ・Facebookページ、YouTube

(4) 施設の提供

- ・市民に平等、公平な施設の利用促進、貸館業務の充実
- ・地域の拠点となる場所の提供

(5) 「withコロナ」「afterコロナ」時代に向けた対応

- ・マスク着用
- ・こまめな除菌
- ・おやつや食事の禁止
- ・活動人数の制限
- ・マイスリッパ持参推奨
- ・薬用石鹼での手洗い推奨
- ・3密を避ける
- ・活動後はすぐに退館
- ・入館チェック
- ・体温、体調チェック
- ・講座運営時に空気清浄機などを使用する

* 状況を把握し、様々な対応を模索する

講座・学習プログラム

講座名	子育てサロン（児童館と合同）		
対象	子育て中の保護者		
募集人数	各内容による	参加人数	延べ15人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺に情報が溢れすぎている ・困りごとなどを自己完結するひが増えている ・子育て中は趣味を諦めることが多い <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと離れて自分の時間を持つ ・正しい知識を得る 		
学習期間	令和4年6月～7月	回数	3回
学習場所	レクホール・研修室		
予算	総額： 30,000 円 ※うち参加者負担金 1,200 円 内訳： 講師料 25,000 円 その他事業費 5,000 円	総額： 14,032 円 ※うち参加者負担金 1,200 円 内訳： 講師料 14,032 円 その他事業費 0 円	決 算
講師	日本武術太極拳連盟土浦太極拳協会認定講師：菅野真優先生 / 地域：工藤幸子さん 千葉県金融広報アドバイザー：黒田千鶴子さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・託児の不安解消のため、慣れた児童館で児童厚生員が子どもを預かった ・こまめに水分補給をするよう声掛けをした ・保護者同士の交流の場となるよう声掛けと雰囲気づくりをした 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・母子分離の不安なく、保護者自身の楽しみに没頭できていた ・プライベートな不安を相談できる場となったようだ ・少人数で開催したため、保護者同士のおしゃべりも楽しんだようだ 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・金魚のモビールづくりの講師は児童館を利用する子を持つ保護者であり、そういった人の活躍の場にもなった 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	6月3日	～太極拳でリラクセス～ ゆったりとした音楽に合わせて、太極拳の動きを練習 参加人数 5人 託児 5人	菅野先生	体を動かす気持ちよさを感じ日々の生活の中で役立てる
2	6月17日	～クラフトバンドでつくる金魚のモビール～ 夏の風物詩を手作りする 参加人数 6人 託児 5人 参加者負担金 @200円×6人	工藤さん	日常の暮らしのアクセントとして季節感をとりいれる
3	7月1日	～子育て中のマネープラン～ マネープランをたてるための基礎知識を学ぶ 参加人数 4人 託児 1人	黒田先生	教育資金や家計管理を学ぶことで生活設計を意識するきっかけとする

講座・学習プログラム

講座名	赤ちゃん広場「いちご組」前半（児童館と合同）		
対象	令和3年4/2～令和3年9/30生まれの子とその保護者		
募集人数	8組16人	参加人数	11組22人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族形態が多様化し、比例して子育ての悩みも多様化している ・身近に相談する場が少ない ・コロナ禍で親子ともにストレスが溜まっている <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同年齢の子とその保護者の出会いの場とする ・子育ての悩みやストレスを軽減する 		
学習期間	令和4年5月～令和5年2月	回数	5回
学習場所	視聴覚室・作法室・レクホール		
予算	総額： 15,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 10,000 円 その他事業費 5,000 円	総額： 7,518 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 7,518 円 その他事業費 0 円	決算 講師料 その他事業費
講師	市健康課栄養士：高山昌代さん/利用団体主宰：金子雅予先生/市健康課保健師：伊藤さん 市健康課歯科衛生士：柴田さん/利用団体主宰：佐々木優子先生		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・けがのないように配慮する ・悩みを打ち明けやすいよう児童厚生員が臨機応変に関わっていく ・子どもの成長を視覚化し、保護者の自己肯定感を高める 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代の子とその保護者が子育ての大変さを共有しあい、の交流の場となった ・保護者のリフレッシュの場となった ・子育ての知識を得ることができた 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・前半後半にわけて開催し、とりこぼしのないよう努めた 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	5月12日	～栄養相談と計測～ かみかみ期の離乳食の進め方と個別の悩み相談 参加人数 7人	栄養士	専門的な話を聞き、栄養について学ぶ
2	6月9日	～子連れヨガ～ 骨盤底筋を鍛え、産後の体を元にもどす 参加人数 5人	金子さん	後回しになりがちな保護者自身が自分の体と向き合い、骨盤底筋を鍛える
3	7月14日	～育児相談～ 個別の悩みにも対応 参加人数 8人	保健師	子どもの発達を促す声掛けや対話の大切さを学ぶ
4	9月22日	～歯科相談～ 個別の悩みにも対応 参加人数 5人	歯科衛生士	子どもの歯磨きのコツと歯について学ぶ
5	2月15日	～親子ピクス～前半・後半合同 音楽にあわせてフラフラブーポンネルをくぐったり 体を使った遊びをする 参加人数 12人	佐々木先生	体をいっぱい動かして親子のコミュニケーションを図る

講座・学習プログラム

講座名	赤ちゃん広場「いちご組」後半（児童館と合同）		
対象	令和3年10月1日～令和4年4月1日生まれの子とその保護者	参加人数	7組14人
募集人数	8組16人	参加人数	7組14人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族形態が多様化し、比例して子育ての悩みも多様化している ・身近に相談する場が少ない ・コロナ禍で親子ともにストレスが溜まっている <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同年齢の子とその保護者の出会いの場とする ・子育ての悩みやストレスを軽減する 		
学習期間	令和4年10月～令和5年2月	回数	5回
学習場所	視聴覚室・作法室・レクホール		
予算	総額： 15,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 10,000 円 その他事業費 5,000 円	総額： 7,518 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 7,518 円 その他事業費 0 円	決算
講師	市健康課栄養士：高山昌代さん/利用団体主宰：金子雅予先生/市健康課保健師：伊藤さん 市健康課歯科衛生士：柴田さん/利用団体主宰：佐々木優子先生		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・けがのないように配慮する ・悩みを打ち明けやすいよう児童厚生員が臨機応変に関わっていく ・子どもの成長を視覚化し、保護者の自己肯定感を高める 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代の子とその保護者が子育ての大変さを共有しあい、の交流の場となった ・保護者のリフレッシュの場となった ・子育ての知識を得ることができた 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・前半後半にわけて開催し、とりこぼしのないよう努めた 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	10月13日	～栄養相談と計測～ かみかみ期の離乳食の進め方と個別の悩み相談 参加人数 7人	栄養士	専門的な話を聞き、栄養について学ぶ
2	11月10日	～子連れヨガ～ 骨盤底筋を鍛え、産後の体を元にもどす 参加人数 5人	金子さん	後回しになりがちな保護者自身が自分の体と向き合い、骨盤底筋を鍛える
3	12月15日	～育児相談～ 個別の悩みにも対応 参加人数 8人	保健師	子どもの発達を促す声掛けや対話の大切さを学ぶ
4	1月19日	～歯科相談～ 個別の悩みにも対応 参加人数 5人	歯科衛生士	子どもの歯磨きのコツと歯について学ぶ
5	2月15日	～親子ピクス～前半・後半合同 音楽にあわせてフラフラブートンネルをくぐったり 体を使った遊びをする 参加人数 12人	佐々木先生	体をいっぱい動かして親子のコミュニケーションを図る

講座・学習プログラム

講座名	学ぶKidsシリーズ（児童館と合同）		
対象	各内容による		
募集人数	各内容による	参加人数	延べ35人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの理科離れが問題となっている SDGsという言葉と実践が乖離している 		
課題	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉ではなく経験としてSDGsを知ってもらう 理科は楽しいと体感してもらい、子どもの知識欲を刺激する 		
学習期間	令和4年7月～8月	回数	3回
学習場所	研修室・中高生ルーム		
予算	総額： 30,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 25,000 円 その他事業費 5,000 円	総額： 20,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 20,000 円 その他事業費 0 円	決算
講師	一般社団法人ダイレクトフォース5人 / 児童厚生員		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 自分で感じ取れるように、言葉で誘導しない 事故のないよう事前に講師と綿密に打ち合わせる 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> なぜ？どうして？と疑問を持つようになった 家ではできない不思議体験に理科が楽しいと感じたようだ 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	7月30日	～ウォールアート（壁飾り）作り～ トイレレットペーパーの芯を着色して、ウォールアートを製作する 対象：小学3年生以上 参加人数 7人	児童厚生員	創造性や情緒性を育むとともに廃材をつかうことでSDGsへの関心を高める
2	8月2日	～びっくり実験「冷却パックをつくろう」～ 尿素と水が混じったときに熱が奪われる吸熱反応で水が冷やされていく様子を観察する 対象：小学1～2年生 参加人数 14人	一般社団法人 社員	化学反応を観察することで実験に対する苦手意識を払拭する
3	8月2日	～磁石でマジックタワーをつくろう～ 身の回りのものを使って、磁石の性質を調べる 対象：小学3年生以上 参加人数 14人	一般社団法人 社員	実験を通して考察力を高める

講座・学習プログラム

講座名	さくらだいきらクラブ～しろい探検隊～（児童館と合同）		
対象	小学3年生以上	参加人数	9人
募集人数	8人		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・白井に住んでいながら、白井について知らないことが多い ・コロナ禍で体験不足の子が増えている ・異学年交流の場が少ない 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと白井をもっと知り、郷土愛を育む ・体験を重ねる ・異学年交流の場とする 		
学習期間	令和4年11月～令和5年3月	回数	3回
学習場所	研修室・調理実習室・小学生ルーム		
予算	総額： 23,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 15,000 円 その他事業費 8,000 円	総額： 4,884 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 4,884 円	決算
講師	株式会社ソフケン：柴田さん / 市産業振興課商工振興係：水沢さん / 児童厚生員		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・事故などのないよう注意する ・3回目は多くの来場者が見込まれるため、休憩とこまめな水分補給を行う ・参加者によって体験が偏らないよう注意する ・達成感を得られるよう見守る 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感を得ることができ、来年もやりたいという参加者が多かった ・白井市についての興味を深めたようだった 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	11月13日 参加人数 9人	～白井にある会社「ソフケン」について知ろう～ アルミでフレーム作り～ 白井工業団地にある株式会社ソフケンの会社概要とアルミ製品について話を聞き、フレーム製作を行う	柴田さん	白井にある企業に興味を持ってもらい、学習のきっかけとする
2	12月10日 参加人数 8人	～白井市のふるさと産品について知ろう～ ジュースでゼリー作り～ ふるさと産品の選定基準などを学び、白井の特産である梨を使ったジュースでゼリーを作る	水沢さん	ふるさと産品について見識を深め白井の特産物などから白井をより深く知る
3	3月4日 参加人数 8人	～さくセンフェスタでこども企画部の運営をしよう～ 担当コーナーに来場した、地域の子どもたちの対応を行う	児童厚生員	異学年交流及びさくセンフェスタというイベントを通じてやりぬく大切さを学ぶ

講座・学習プログラム

講座名	さくせん子ども企画部(児童館と合同)		
対象	小学4年生以上	参加人数	8人
募集人数	募集せず		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰かに言われたことだけをすすめる子どもが増えている 自主的に考え行動する子どもが少なくない <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら考え、作り、形にする過程を楽しむ 協調性を育む 		
学習期間	令和5年2月～3月	回数	3回
学習場所	中高生ルーム・小学生ルーム		
予算	総額： 5,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 5,000 円	総額： 0 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 0 円	決算
講師	児童厚生員		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で広く募集をせずにさくらだのメンバーが企画運営を行う 個人に偏ることなく、全員が運営に参加できるように努める 時間遵守を徹底させる 水分補給の声掛けをこまめに行う 		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> それぞれが達成感を得たようだった 皆で協力しあうことができた 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	2月25日	～コーナーの説明を受け製作する～ 自分たちが受け持つコーナーについての説明を受け、必要なものを製作する 参加人数 8人	児童厚生員	自分の担う役割を理解し、何か必要かを考え、協力しながら製作する
2	3月3日	～さくせんフェスタ前日準備～ コーナーの最終確認と役割分担 参加人数 8人	児童厚生員	自分の担う役割を理解し、当日のために準備をする
3	3月4日	～さくせんフェスタ～ コーナーの運営 来場者との対応 参加人数 8人	児童厚生員	自分の担う役割を理解し、協力しながら運営する

講座・学習プログラム

講座名	さくせんフェスタ子どもボランティア (児童館と合同)		
対象	小学3年生以上	参加人数	5人
募集人数	募集せず		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰かの指示待ち、指示されたことだけをする、そういう子どもが増えている 自己中心的な考えを持つ子どもが増えている <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの自主性と協調性を育む 児童厚生員とともに目的に向かい行動することで関わりを深める 		
学習期間	令和5年3月	回数	2回
学習場所	小学生ルーム		
予算	総額： 5,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 5,000 円	総額： 0 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 0 円	決算 講師料 その他事業費
講師	児童厚生員		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で広く募集をせざるにさくせんのメンバーが企画運営を行う 個人に頼ることなく、全員が運営に参加できるよう努める 時間遵守を徹底させる 水分補給の声掛けをこまめに行う 		
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> それぞれが達成感を得たようだった 皆で協力しあうことができた 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	3月4日	～さくせんフェスタでボランティア～ 児童館のゲームコーナーを運営する 参加人数 5人	児童厚生員	自分の担う役割を理解し、協力しながら運営する
2	3月5日	～地域イズムでボランティア～ 児童館のゲームコーナーを運営する 参加人数 5人	児童厚生員	自分の担う役割を理解し、協力しながら運営する

講座・学習プログラム

講座名	学ぶKids「さくせんウォーク」(桜台地区青少年相談員・児童館と合同)		
対象	小学4年生以上	参加人数	8人
募集人数	15人		
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で子どもたちの体験が希薄 ・達成感を感じることがあまりないためこどもたちの自己肯定感が希薄 ・地域で子どもを見守るという意識が希薄 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで励ましあって完歩する ・地域の大人がボランティアとして参加する ・頼れる大人が地域にいることを認識する 		
学習期間	令和4年11月	回数	1回
学習場所	館外・平塚分校・研修室		
予算	総額： 10,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 10,000 円	決算	総額： 777 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 777 円
講師	白井市青少年相談員 / 公民館スタッフ		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・事故のないよう事前準備を入念に行う ・完歩を指すが無理はさせない ・講座終了時の時間を鑑みて保護者の迎えもしくはボランティアが送るよう事前に手配しておく 		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員完歩したことで達成感を得ることができ、自己肯定感につながったようだ ・地域で子どもを見守ってくれているということを感じたようだ ・体験によって感じたことが多かったことが感想文に表れていた 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿はまだできない状況のためウォークのみの開催となった 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	11月12日	～桜台センターを起点に市内10kmを歩く～ 平塚分校で休憩をとり、平塚分校と周辺の神社などに歩いて学ぶ 参加人数 8人	白井市青少年相談員 公民館スタッフ	困難に立ち向かう力を養うとともに地域で子どもを見守るという意識を強くする

講座・学習プログラム

講座名	リフレッシュ倶楽部「自宅でできる健康リンパ講座」		
対象	一般		
募集人数	10人	参加人数	10人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院に行くほどではないが、体の不調を抱える人が多い ・健康志向はあるがお金をかけたくない人が多い ・リンパについて正しい知識を学ぶ機会がない <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で継続できるようにする ・リンパについて正しい知識を得る 		
学習期間	令和5年2月	回数	1回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額： 10,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 9,000 円 その他事業費 1,000 円	決算	総額： 9,012 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 9,012 円 その他事業費 0 円
講師	リンパセラピーアドバイザー：東牧佳子さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・日常に取り入れやすい内容にする ・水分補給に留意する ・椅子を使用できる部屋にする 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・実践の前に座学があったことで理解を深めることができたようだ ・自分で継続して実践しようと思った人が多かった ・家族や知人にも学んだことを伝えたいという人が多かった 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	2月7日	前半座学 リンパの働きについて学ぶ 後半実践 自分でできる各部位でのリンパの流し方を学ぶ 参加人数 10人	東牧先生	リンパについて正しい知識を得るとともに自分で実践継続できるように図る

講座・学習プログラム

講座名	優しく学べるシニア向けスマホ講座(基礎編)		
対象	概ね60歳以上	参加人数	延べ 18人
募集人数	各10人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代はスマホに苦手意識を持っている人が多い ・スマホを使用すること自体に不安を持っている人が多い ・リアルで会うことが難しい状況である <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操作方法などに対する苦手意識を払拭する ・生活に便利な機器として認識する 		
学習期間	令和4年5月～10月	回数	2回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額： 5,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 5,000 円	総額： 0 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 0 円	決算 講師料 その他事業費
講師	ソフトバンクスマホアドバイザー：柏原さん、松尾さん、増田さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ所有の有無にかかわらず学べるよう全員の機器を講師が用意する ・講座に取り残されるひとがないよう、ひとりひとりに目を配る ・プロジェクターを使用し、視覚的に確認しやすくわかりやすい講座とする ・個人的な相談を受ける時間を設ける 		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・操作が簡単で楽しいと感じたようだった ・生活の中で使っていると思うようになった 		
備考	同じ内容で開催		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	5月12日	～メモを取るより触ってみよう～ 電話をかける、受ける インターネット音声検索 地図の使い方 写真の撮り方、画像の保存方法ほか 参加人数 10人	スマホ アドバイザー	スマホに対する苦手意識を払拭し、 簡単に楽しいものと認識させる
2	10月13日	～メモを取るより触ってみよう～ 電話をかける、受ける インターネット音声検索 地図の使い方 写真の撮り方、画像の保存方法ほか 参加人数 8人	スマホ アドバイザー	スマホに対する苦手意識を払拭し、 簡単に楽しいものと認識させる

講座・学習プログラム

講座名	優しく学べるシニア向けスマホ講座（活用編）		
対象	概ね60歳以上		
募集人数	10人	参加人数	延べ21人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホを所有していても使いこなせていない人が多い ・基本操作ができる人はレベルアップを望んでいる ・迷惑メールや詐欺被害が増えている <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティの高め方を学ぶ ・安全なスマホ利用についての知識を得る 		
学習期間	令和4年6月～11月	回数	2回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額： 5,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 5,000 円	決算	総額： 0 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 0 円
講師	ソフトバンクスマホアドバイザー：柏原さん、松尾さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・全員のスマホを講師が用意 ・ひとりひとりが理解できているかを確認しながら講座をすすめる ・プロジェクターを使用し、視覚的に確認しやすくわかりやすい講座とする 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・改めてスマホの利便さを認識したようだった ・さらに簡単に利用できるやり方を理解し、日常的に使おうという気になったようだ ・便利であると同時にセキュリティも必要であると学んだようだった 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	6月16日	～迷惑メールや詐欺被害から自分を守る～ アプリを安全に利用する方法や対処法などを学ぶ 参加人数 9人	スマホアドバイザー	シニア層が安全にスマホを使いこなせるよう図る
2	11月9日	～迷惑メールや詐欺被害から自分を守る～ アプリを安全に利用する方法や対処法などを学ぶ 参加人数 12人	スマホアドバイザー	シニア層が安全にスマホを使いこなせるよう図る

講座・学習プログラム

講座名	はじめよう！Zoom体験講座		
対象	一般		
募集人数	10人	参加人数	延べ 31人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ZOOMという言葉だけを知っているが使ったことがない人が多い ・ ZOOMは会議に使うだけのものだと思いついていない人が多い ・ ZOOMは難しいものだと思いついていない人が多い <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションツールのひとつとして認識する ・ 苦手を意識を払拭する 		
学習期間	令和4年4月～12月	回数	4回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額： 5,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 5,000 円	総額： 0 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 0 円	決 算
講師	ソフトバンクスマホアドバイザー：柏原さん、増田さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員のiPadとマイク付きイヤホンを用意する ・ プロジェクターを使用し、視覚的に確認しやすくわかりやすい講座とする ・ クイズを交えるなどして楽しく理解できるように努める ・ ひとりになったときにできないか不安を持つ人へのアフターフォローについて用意する 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本操作をひととおりできるようになった ・ テレビ電話と同じで会議じゃなくても利用できること知った 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ内容の講座を複数回開催 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	4月14日	～ZOOMに参加してみよう～ スマホとタブレットの違いは？ iPadで参加方法を学ぶ リアクションをとろう 退室方法を学ぼう 参加人数 9人	ソフトバンク スマホ アドバイザー	コミュニケーションルールとして苦 手意識なく使うことができるように する
2	7月13日	～ZOOMに参加してみよう～ スマホとタブレットの違いは？ iPadで参加方法を学ぶ リアクションをとろう 退室方法を学ぼう 参加人数 5人	ソフトバンク スマホ アドバイザー	コミュニケーションルールとして苦 手意識なく使うことができるように する
3	9月15日	～ZOOMに参加してみよう～ スマホとタブレットの違いは？ iPadで参加方法を学ぶ リアクションをとろう 退室方法を学ぼう 参加人数 8人	ソフトバンク スマホ アドバイザー	コミュニケーションルールとして苦 手意識なく使うことができるように する
4	12月7日	～ZOOMに参加してみよう～ スマホとタブレットの違いは？ iPadで参加方法を学ぶ リアクションをとろう 退室方法を学ぼう 参加人数 9人	ソフトバンク スマホ アドバイザー	コミュニケーションルールとして苦 手意識なく使うことができるように する

講座・学習プログラム

講座名	大人の手芸倶楽部～はじめて作る小さなワイヤーバスケット～		
対象	一般		
募集人数	8人	参加人数	8人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で趣味を同じくする人と会う機会がなかった ・おうち時間が増えたのに無趣味の人が多い <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく趣味をみつける ・ハンドメイドの楽しさを知る 		
学習期間	令和5年2月	回数	1回
学習場所	研修室		
予算	総額： 10,000 円 ※うち参加者負担金 12,000 円 内訳： 講師料 7,000 円 その他事業費 3,000 円	総額： 7,019 円 ※うち参加者負担金 12,000 円 内訳： 講師料 7,019 円 その他事業費 0 円	決算
講師	日本ワイヤークラフト協会グラウンドマイスター：ますしいゆりこ先生		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がかかることが予想されたので工程の半分を見本として講師が作っておく ・同じワイヤーを使用した作品をいくつか展示しさらに興味を抱かせる ・けがに注意する ・異素材を加えて満足感をひきだす 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーの扱いに慣れるのに時間がかかったため事前に半分作成しておいて良かった ・続けてワイヤークラフトを楽しみたいという人が複数人いた 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルの作り方などを案内した 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	2月21日	～バスケットを作ってみよう～ やわらかなワイヤーの特性を知り、指で曲げながらバスケットを形作る 参加人数 8人	ますしい先生	バスケットを作る達成感を得るとともに同じ趣味をもつ仲間を作る

講座・学習プログラム

講座名	白井歴史散策倶楽部～白井の魅力発見～春		
対象	一般	参加人数	9人
募集人数	10人		
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化財などを知らない人が多い ・郷土愛を育む機会が乏しい <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白井についてもっと知ってもらおう ・参加者同士の交流を図る 		
学習期間	令和4年5月	回数	2回
学習場所	視聴覚室・館外		
予算	総額：5,000円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 5,000円	決算	総額：0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
講師	市学芸員：戸谷敦司さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した資料の配布 ・事故のないよう注意 ・水分補給をこまめに行うよう注意 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク越しに交流を深める姿がみられた ・知らない白井を知った人が多かった 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	5月19日	～座学～ 白井の歴史と文化財について資料を見ながら学ぶ 参加人数 9人	学芸員	事前に歴史を学ぶことで次回の散策をより学びの深いものとする
2	5月26日	～散策～ 校台周辺を散策しながら文化財を見る 参加人数 9人	学芸員	実際に歩き、目にすることでさらに白井への興味と愛着を感じ、郷土愛を育む

講座・学習プログラム

講座名	白井歴史散策倶楽部～白井の魅力発見～秋		
対象	一般		
募集人数	10人	参加人数	10人
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化財などを知らない人が多い ・郷土愛を育む機会が乏しい <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白井についてもっと知ってもらおう ・参加者同士の交流を図る 		
学習期間	令和4年11月～12月	回数	2回
学習場所	視聴覚室・館外		
予算	総額： 5,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 5,000 円	決算	総額： 0 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 0 円
講師	市学芸員：戸谷教司さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・事故のないよう注意する ・散策は天候や体調を鑑みて無理して参加しないよう案内する ・プロジェクターなどを使用してわかりやすい講座になるよう努める 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度の高い講座だったようだ ・白井の魅力を発見するとともにさらに知りたいという知識欲を刺激したようだ ・参加者同士でも各自のフィールドワークについて語り合ったりしていた 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に予定していたコースは天候などから臨機応変に変更した 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	11月29日	～座学～ 白井の歴史と文化財について資料を見ながら学ぶ 参加人数 10人	学芸員	事前に歴史を学ぶことで次回の散策をより学びの深いものとする
2	12月6日	～散策～ 春とは違ったコースを散策しその季節ならではの地域の姿を見る 参加人数 6人	学芸員	この時期だけ見ることのできる地域の様子を実際に見て学ぶ

講座・学習プログラム

講座名	歴史講座～寺社参詣の旅と房総～		
対象	市内在住・在勤		
募集人数	10人	参加人数	9人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史に興味のある人が多いが、知識として得る機会が少ない <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・房総の歴史を知る ・知識欲を刺激する 		
学習期間	令和4年10月	回数	1回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額：5,000円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 5,000円	決算	総額：0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
講師	千葉県文書館講師：中川和明先生		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを使用してわかりやすい講座とする ・わかりやすい資料を配布する 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・また歴史講座を開催して欲しいと参加者から要望されるほど満足度の高い講座だったようだ ・様々なエピソードを交えた興味深い話だった 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	10月27日	～寺社参詣の旅と房総～ 江戸時代に一般市民がどのようにに寺社参詣の旅を繰り広げたのか 房総の人々の旅と信仰について学ぶ 参加人数 9人	中川先生	千葉の歴史を知り、文化を知り、地域を知る

講座・学習プログラム

講座名	税金講座～どう働く？どう納める？～託児あり		
対象	一般		
募集人数	10人	参加人数	6人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 税金について学ぶ機会が少ない 給与から天引きされている税金について理解していない人が多い <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 税金についての知識を得て、働き方を選ぶ一助とする 		
学習期間	令和4年10月	回数	1回
学習場所	研修室		
予算	総額： 10,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 (法人) 9000 円 その他事業費 1,000 円	総額： 9,000 円 ※うち参加者負担金 0 円 内訳： 講師料 (法人) 9000 円 その他事業費 0 円	
講師	有限会社加賀計算センター：上原一平税理士		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> プライベートな質問が多いと予想されたため講座終了後に個別に講師と話をする時間とする 理解しづらい税金について配布資料とは別にプロジェクターを使用してわかりやすく視覚化を図る 最低賃金が引き上げられ、確定申告前、年末調整前という関心の高い時期に開催するように図る 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> いわゆる「壁」についての盲点を知ることができたようだ 給与明細についての理解を深めることができたようだ 直接税理士に相談するよい機会となったようだ 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 託児ありとしたが、希望者がいなかった 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	10月26日	給与に関わる所得税、住民税などについて学ぶ 参加人数 6人	税理士	税金について理解し、働き方を自分で選べる一助とする

講座・学習プログラム

講座名	なろう！桜台地域サポーター		
対象	桜台小中学校校区在住地域住民		
募集人数	参加人数	7人	
事業の課題と目標	人数制限なし		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍の機会や場が少ない ・地域を盛り上げようとする人をまとめる場が少ない 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え企画する市民を支援する ・桜台センターが活躍する場と機会となる 		
学習期間	令和4年6月～令和5年3月	回数	6回
学習場所	視聴覚室・中高生ルーム・館内		
予算	総額：10,000円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 10,000円	総額：0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算 講師料 その他事業費
講師			
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが自由に発言し、妨げることのない場づくり ・予定の調整を早めに行う 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・桜台センターイベントをセンターとともに盛り上げた 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	6月24日	社会福祉協議会の事業説明 サポーターとしてできること 参加人数 5人		市内の活動団体とつながる
2	1月27日	桜台センターイベントで サポーターが活躍できること さくらだいのうた きつねダンス 事前練習など 参加人数 6人		桜台センターを活躍の場とする
3	2月24日	桜台センターイベントで サポーターが活躍できること さくらだいのうた きつねダンス 事前練習など 参加人数 3人		桜台センターを活躍の場とする
4	3月3日	さくらだいのうた きつねダンス ○×クイズ ビンゴ大会 レクホールで最後のリハーサル 参加人数 3人		桜台センターを活躍の場とする
5	3月4日	～さくフェスタに参加～ ボランティアとしても できる人ができる範囲で参加 参加人数 7人		桜台センターを活躍の場とする

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
6	3月5日	～地域イズム2022に参加～ 講師 MC きつねダンスの披露など 参加人数 5人		桜台センターを活躍の場とする

事業活動

事業名	桜台センター利用者連絡会		
対象	桜台センター利用団体		
参加人数	45団体（委任状含む）		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体同士の交流の場が少ない ・センターと利用団体全体との相互理解の場が少ない 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・センターと利用団体相互理解の場とする ・さくせんフェスタの日程を決定する 		
期間	令和4年5月	回数	1回
場所	研修室		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・意見が出やすいような雰囲気づくり ・理解を求めながらすすめる 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のセンター利用について理解を得た ・さくせんフェスタの日程を決定した 		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月21日	～定期総会～ センター事業報告と協力依頼 センター利用について さくせんフェスタについて 参加人数 45人（委任状含む）	センターと利用団体同士の交流を図るとともに、相互理解を深める

事業活動

事業名	2022年度さくセクセンフェスタ実行委員会		
対象	さくセクセンフェスタ参加団体		
参加人数	10団体		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で活動の発表の場が少ない ・地域団体と利用団体の交流の場が少ない 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら役割を担い、話し合いの元、開催に向けて一丸となる ・実行委員会主体で話し合いをすすめる 		
期	令和4年5月～令和5年2月	回数	3回
場所	研修室		
事業参加者への配慮等			
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加を促す声掛けをこまめに行う ・委員長と事前に打ち合わせを行い、スムーズな会議とするよう努める ・資料などを随時更新し、配布する 		
事業の成果（課題や目標に対して）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で参加団体が減ったが、様々な意見交換ができた ・活動発表だけでなく、会員獲得のために参加するという意味を持たせることができた 		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月21日	今年度さくセクセンフェスタ開催日決定 実行委員長・副委員長選出 参加人数 10人	さくセクセンフェスタ開催に向けて参加団体の相互理解と役割の中で活動の幅を広げていく
2	12月17日	各団体 場所・時間・備品調整 各団体役割調整ほか 参加人数 10人	さくセクセンフェスタ開催に向けて参加団体の相互理解と役割の中で活動の幅を広げていく
3	2月4日	最終確認 プログラム・役割・事前縦断ほか 参加人数 6人	さくセクセンフェスタ開催に向けて参加団体の相互理解と役割の中で活動の幅を広げていく

事業活動

事業名	2022年度さくせんフェスタ（さくせんフェスタ実行委員会・児童館合同）		
対象	一般		
参加人数	1,163人		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍によりサークル減少がみられる ・地域で楽しむイベントが自粛し続けていた 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のランドマークとして周知する ・事故のない活気のあるイベントとする 		
期間	令和5年3月	回数	1回
場所	館内・敷地内		
事業参加者への配慮等			
	<ul style="list-style-type: none"> ・発表時間や展示場所など各団体の話し合いで決定する ・感染症対策として来場者の連絡先を把握する ・水分補給以外の飲食を館外の決められたエリアでのみ可能とする ・サポーターナースに常駐してもらう ・混雑が予想される児童館では、時間制・人数制限を設けるなどして混雑の緩和に努めた ・事故やけがないよう努める 		
事業の成果（課題や目標に対して）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・事故なく安全に開催できた ・コロナ禍でも活動を続けていた成果発表でき、団体の継続する意欲になったようだ 		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	3月3日	<p>～さくせんフェスタ前日準備～ 展示、販売団体の準備を行う 参加人数 15人</p>	さくせんフェスタを問題なく開催できるよう準備を行う
2	3月4日	<p>～さくせんフェスタ～ 発表、展示、体験、販売を行う 団体は自ら決めた係を担う 参加人数 1,163人</p>	参加団体の親睦と来場者との交流を図り、団体の活動周知と生涯学習の推進を図る

事業活動

事業名	体験体感イベント地域イズム2022		
対象	一般		
参加人数	367人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で何かをしたいという思いに応えられない場や機会が少ない ・地域が一体となるイベントがない <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のやりたいを支える ・地域コミュニケーションの醸成を図る 		
期 間	令和5年3月	回 数	1回
場 所	館内・敷地内		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・事故やけがないよう努める ・事前の周知に努める ・水分補給以外の飲食を館外の決められたエリアでのみ可能とする ・サポーターナースに常駐してもらう 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のやりたいという声を生かすことができた ・地域で活動する様々な団体を市民に周知する場となった ・来場者が多様な体験ができたようだ 		
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	3月5日	～地域イズム2022～ 演奏会・講演会・工作・ゲーム・展示・販売など 参加人数 367人	地域の力を集結させ、地域を盛り上げる